

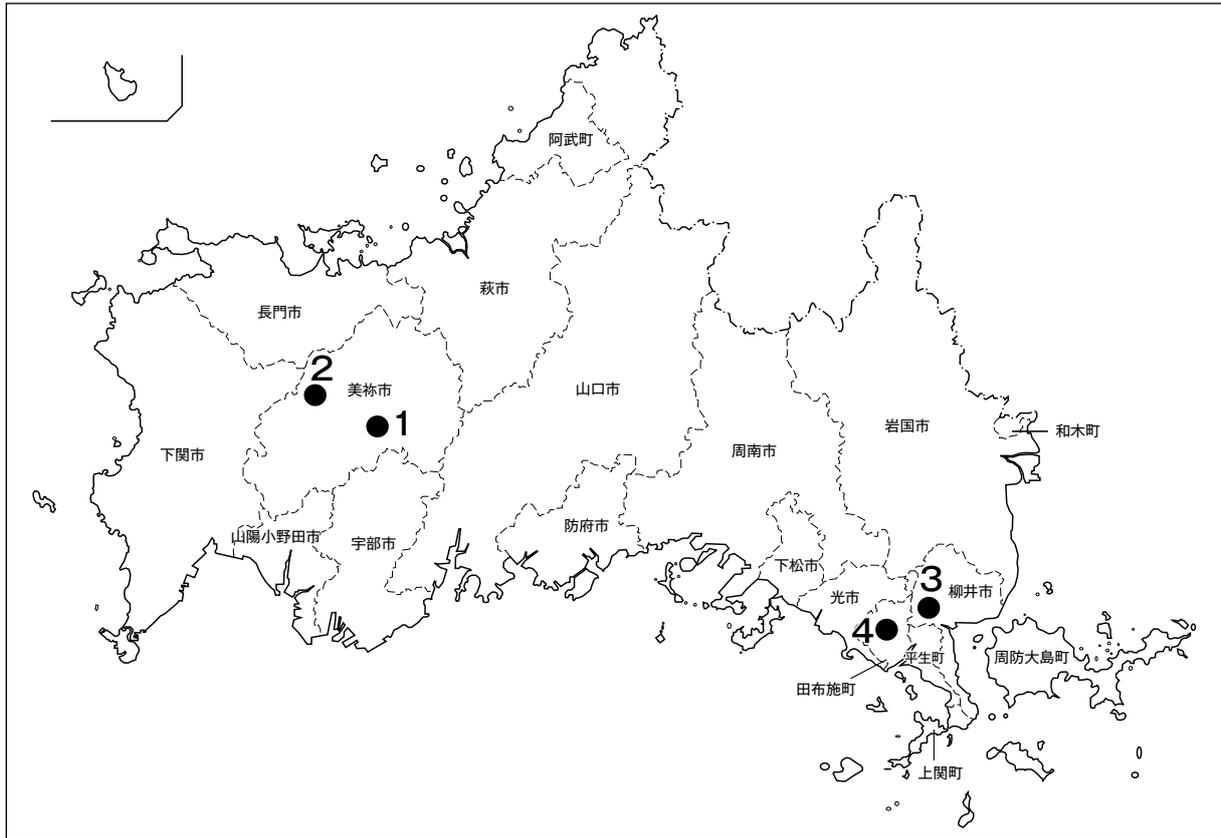
山口県埋蔵文化財センター第51回展示

掘っちょる山口

— 昔々、山口のあるところに、
こんな暮らしがありました —



令和3年度発掘調査の成果



遺跡の場所

1 道場・中村遺跡 (美祿市)

3 信川遺跡 (柳井市)

2 於福金山遺跡 (美祿市)

4 馬場遺跡 (田布施町)

展示遺跡年表

中心時期

その他確認された時期

| 時代 | 旧石器 | 縄文 | 弥生 | 古墳 | 奈良 | 平安 | 鎌倉 | 室町 | 安土桃山 | 江戸 | 明治 |
|---------|--|--|--|--|---|---|---|---|---|---|--|
| 展示遺跡の時代 | | | | | | | | | | | |
| おもなできごと | <ul style="list-style-type: none"> 狩りをしてくらす | <ul style="list-style-type: none"> 縄文土器や石器・弓矢が使われる 狩猟・漁労・採集を行うムラができる | <ul style="list-style-type: none"> 大陸から日本列島に稲作・金属器が伝わる 集落が営まれる (道場・中村遺跡) 集落が営まれる (信川遺跡) 集落が営まれる (馬場遺跡) 各地にクニがつくられる (『漢書』) 卑弥呼が邪馬台国を治める (『魏志』) | <ul style="list-style-type: none"> ヤマト政権による国土の統一が進む | <ul style="list-style-type: none"> 銅の生産が始まる (於福金山遺跡) 七〇 平城京に都を定める | <ul style="list-style-type: none"> 七五二 東大寺の大仏ができる 七九四 平安京に都を移す 一一六七 平清盛が政治の実権をにぎる | <ul style="list-style-type: none"> 一一八五 鎌倉幕府が成立する 大型建物が営まれる (信川遺跡) 墓がつくられる (道場・中村遺跡) | <ul style="list-style-type: none"> 一三三八 足利尊氏が京都に幕府を開く | <ul style="list-style-type: none"> 一四六七 応仁の乱が起こる | <ul style="list-style-type: none"> 溝がつくられる (道場・中村遺跡) 一六〇三 徳川家康が江戸に幕府を開く 一五九〇 豊臣秀吉が全国を統一する | <ul style="list-style-type: none"> 一八六八 明治維新 江戸を東京とする |



南西上空から見た遺跡のようす (写真手前中央の集落内)

*写真奥は秋吉台

どうじょう なかむら いせき
道場・中村遺跡 (美祿市)

道場・中村遺跡は、美祿市秋芳町岩永本郷^{いわながほんごう}に位置する弥生時代中期前半と後期後半を中心とする集落跡です。今回の調査で竪穴建物 11 棟や多数の土坑などが発見されました。

弥生時代の土坑には袋状に掘られたもの、大量の弥生土器や石製品が出土したのがあり、食料の貯蔵やごみ捨て穴として使用されたと考えられます。

出土した弥生土器には器形や文様に九州・関門地域や瀬戸内などの特徴を取り入れたものがあり、様々な地域との交流を通じて独自の文化を発展させていたようです。

このほか、中世の墓や掘立柱^{ほったてばしら}建物も発見されました。墓は有力者のものとみられ、副葬品として中国製の青磁^{せいじ}の椀^{わん}と白磁^{はくじ}の皿が重ねられた、非常に珍しい状態で発見されました。



土坑から出土した弥生土器



円形土坑の調査のようす



1区竖穴建物全景



2区竖穴建物の調査のようす



土器が大量に投棄された土坑



検出された袋状土坑



青磁・白磁が副葬された中世の墓



上空から見た遺跡



両側に溝をもつ炉跡 (SL23)



炉跡 (SL3)

お ぶくかなやま い せき 於福金山遺跡 (美祿市)

於福金山遺跡は、秋吉台西方の盆地に位置する古代の生産遺跡です。柱穴や土坑を発見しましたが、明確な建物は見つかっていません。その一方、通常の集落と異なり、多くの炉跡と大量のカラミ（鈹滓）・銅鈹石を発見しました。

出土遺物は奈良時代前期から平安時代中期にかけての土師器・須恵器・緑釉陶器が主体で、硯や墨書土器、製塩土器などもあり、官衙（役所）で使われた品々と近い内容となっています。

この遺跡は付近で採れる銅鈹石から金属銅を生産していたと考えられ、長登銅山跡（美祿市）と並ぶ、日本最古の銅生産遺跡のひとつであることがわかりました。



北方から見た調査地（写真中央やや下）



多くの弥生土器が捨てられた穴



鎌倉時代の大型掘立柱建物

のぶかわ いせき 信川遺跡（柳井市）

信川遺跡は、柳井市^{しんじょう}新庄南地区にある弥生時代中期～古墳時代初期と平安時代末期～室町時代の遺跡です。

今回の調査で、壺・甕・鉢^{つぼ かめ ばち}など多くの弥生土器が捨てられた穴や、古墳時代の初めの^{たてあな}竪穴建物がみつっています。

また、平安時代末期から鎌倉時代の大型掘立柱^{ほったてばしら}建物をはじめ、土器を埋納した多くの柱穴が見つかりました。土師器の皿・杯・椀^{はじき つき わん}と共に、中国製の青磁椀、白磁椀・四耳壺^{はくじこ しじこ}が出土した柱穴もあります。そのほかに、近畿方面から持ち込まれたと考えられる瓦器や、九州北部で見つかることの多い^{かっせき そうどうつぼがた}滑石製の双胴壺型石製品などが出土しています。

これらの遺構や遺物から、柳井市新庄地区の文献史料を補う貴重な成果を得ることができました。



上空から見た遺跡のようす



竪穴建物に残る炭化した屋根材



埋められていた須恵器の甕

ばばいせき 馬場遺跡 (田布施町)

馬場遺跡は、田布施町南西部にある丘陵のふもとに位置します。弥生時代中期から古墳時代中期を中心とする集落跡で、竪穴建物 21 棟をはじめ、掘立柱建物、土坑(穴)、溝などを確認しました。竪穴建物の中には、直径が約 11 m の円形の建物があり、県内最大級の大きさです。また、多量の炭化材や焼土を残す建物、土器を廃棄した穴、須恵器の甕 1 個体分を埋めた穴、木炭を焼いた穴などもみつけられました。

遺物は、弥生土器が多数を占め、他地域との交流を示す土器も出土しました。また、石鏃・鉄鏃などの狩猟具や、砥石・台石・紡錘車などの日常用具、ガラス小玉・管玉などの装身具のほか、縄文時代の石器、古代の緑釉陶器、中世の中国製磁器などもみつけられました。



竪穴建物に残る焼土と炭化材



竪穴建物内での発掘作業



溝から出土した土器をのせる台



柱穴の中の土器を掘る

編集・発行 公益財団法人山口県ひとづくり財団
山口県埋蔵文化財センター
〒753-0073 山口市春日町3番22号
TEL:083-923-1060 FAX:083-923-2001
URL:<http://www.y-maibun.jp/>